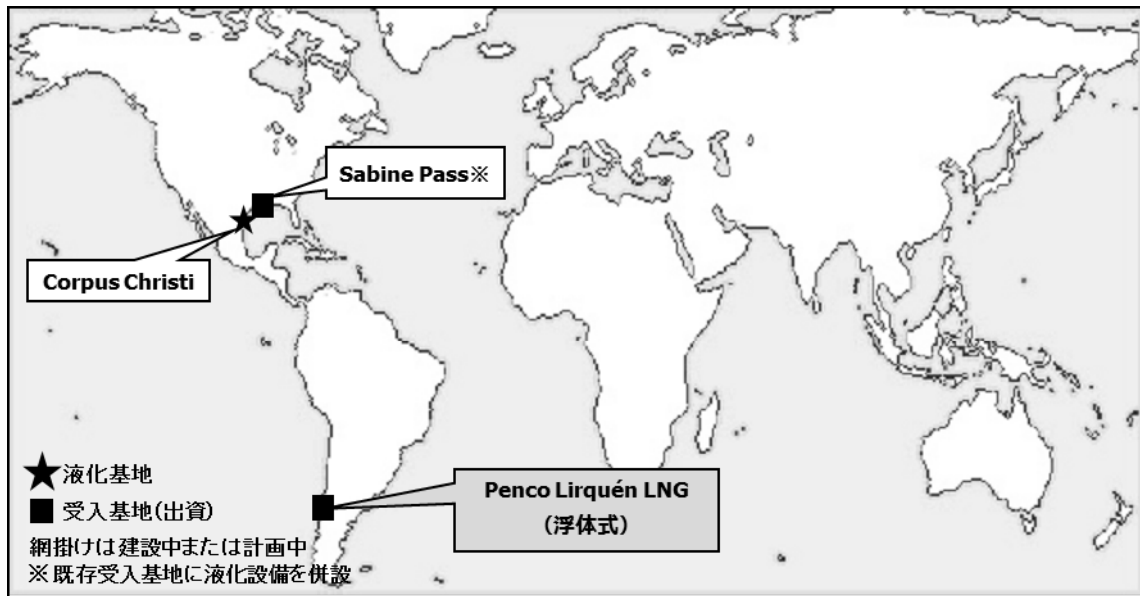


## 25. Cheniere Energy

### (1) 企業概要

Cheniere Energy は、1983 年に米国で設立された、LNG 液化基地、受入基地等の天然ガス事業を手掛ける企業である。1999 年から北米 LNG 受入基地事業に進出し、2008 年ルイジアナ州 Sabine Pass で受入基地の操業を開始した。また、シェールガス革命を契機とする米国内でのガス需給緩和状況を受け、2010 年に上記受入基地に液化設備を併設する構想を打ち出したのを皮切りに、現在は LNG 生産プロジェクトを推進している。

Cheniere Energy の LNG 液化・受入基地図



### (2) LNG 関連

Cheniere Energy は、2008 年にルイジアナ州で Sabine Pass LNG 受入基地の操業を開始した。その後のシェールガス革命を契機とする米国内での天然ガス需給緩和状況を受けて、2010 年には、同受入基地に天然ガスの液化設備を増設する計画を発表した。Train 1 と Train 2 は 2016 年、Train 3 と Train 4 は 2017 年、Train 5 は 2019 年に完成し、LNG 生産を開始した。Train 6 については 2019 年 5 月に FID が実施され、2022 年下半期の完成を目指して建設中である。Train 6 が完成すると LNG の生産能力は年間約 3,000 万トンに達する予定である。同社は、Train 1～5 の LNG 売買契約として、Shell、Naturgy、GAIL、KOGAS、Total、Centrica と合計 1,975 万トン/年の供給に合意している。同じく Train 6 は Petronas と 110 万トン/年の供給に合意している。

Corpus Christi LNG 基地も、Sabine Pass 基地同様に、LNG 輸入と輸出が可能な設備を検討していたが、2012 年 6 月に受入基地の操業を断念し、液化専用とする方針に転換した。

#### IV. 主要企業別 LNG 事業動向

Train 1 は 2019 年 2 月、Train 2 は 2019 年 8 月に完成し運転を開始した。Train 3 は建設中で 2021 年上半期の完成を目指している。また、Corpus Christi LNG に隣接する Corpus Christi Stage 3 も計画されており、予想生産能力は 135 万トン × 7 トレイン、合計 945 万トン/年、全ての計画が完成すれば、Copus Christi プロジェクト合計 2,295 万トン/年となる見通しである。DOE は、同液化基地に対し FTA 締結国および非締結国向けに 767 Bcf/y(1,500 万トン/年)、FTA 締結国向けのみ 514 Bcf/y(約 1,100 万トン/年)の LNG 輸出許可を与えている。Cheniere Energy は、同基地からは、Pertamina、Endesa、Pavilion Energy、Naturgy、EDF、Woodside Energy Trading Singapore、Central El Campesino、EDP、PetroChina と合計 1,022 万トン/年の LNG 売買契約で合意している。

#### Cheniere Energy が出資する LNG プロジェクト

国名	プロジェクト名 (Train名)	液化能力 (万トン/年)	生産開始	出資者	主要仕向地		
アメリカ	Sabine Pass LNG, LA (既存受入基地に併設)	450	2016年	Cheniere Energy	アジア、欧州		
	(Train 1)						
	(Train 2)						
	(Train 3)		2017年				
	(Train 4)						
	(Train 5)						
	(Train 6)	450	2019年				
	(Train 6)	450	2022年 (建設中)				
	Corpus Christi LNG, TX	1,350	2019年			Cheniere Energy	欧州・アジア
	(Train 1)						
	(Train 2)		2019年				
	(Train 3)	2021年 (建設中)					
	stage 3 expansion		135	計画中			
	(Train 4)						
	(Train 5)						
	(Train 6)						
	(Train 7)						
	(Train 8)						
	(Train 9)						
(Train 10)	135						

#### Cheniere Energy が出資する受入基地

国名	基地名	出資者	受入能力 (万トン/年)	受入開始
アメリカ	Sabine Pass LNG, LA (液化基地を併設)	Cheniere Energy Partners (Cheniere Energy 59%, Public Unitholders 9% Blackstone 32%)	1,975	2008年
	<Expansion>		1,063	2009年
チリ	Penco Lirquén LNG/Offshore(FSRU)	Biobiogenera ( Andes Mining & Energy, Beacon Investments) 50%, Cheniere Energy 50%	400	計画中

**(3) 今後の戦略**

Cheniere Energy は、シェール革命を契機として、当初の LNG 受入基地事業から液化基地事業へとビジネスモデルを変化させた。今後の優先課題は、Sabine Pass (Train 6) と Corpus Christi (Train 3) の建設完了及び生産開始であり、加えて Corpus Christi の拡張 (Stage 3) である。また、LNG 液化プロジェクトの拡大や LNG 供給の新規契約に向けて、他事業者とのパートナーシップ構築を進めて行くとしている。

さらに、基地オペレーション事業や、米国外における天然ガス・LNG のマーケティング事業も推進している。同社は今後、LNG の更なる販売拡大に繋げるため、チリにおいて Biobioenera と合弁企業を設立し、同国で 3 つ目の LNG 受入基地を建設する Penco Lirquén LNG プロジェクトを計画、Corpus Christi から同基地への LNG 供給を検討しているが、2017 年以降進展はみられていない。

Cheniere Energy は 2019 年末時点で Sabine Pass と Corpus Christi の両プロジェクトの総生産容量の 85%にあたる契約を確保している。この中には、LNG 貨物配送のキャンセルまたは一時停止の選択に関係なく、契約量に関して顧客が固定料金を支払う必要がある契約も含まれ、これによって長期タームで経営を安定化させるビジネスモデルを構築している。これにより 2020 年上半期は、顧客がキャンセルを通知したカーゴに関して、7.61 億米ドルの収入を得たとしている。一方、貨物の仕向地変更やキャンセル等、顧客の要望に柔軟に対応する方針を明確にしている。